

大牟田市立歴木中学校

1 本校のESDの特徴

本校では、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「福祉体験(SDG3)」、「職場体験(SDG8)」、「保育体験(SDG4)」の交流体験及びキャリア教育などから様々な課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを通して、生徒たちに実生活や社会で生かされる思考力・判断力・表現力を身につけることを目指している。

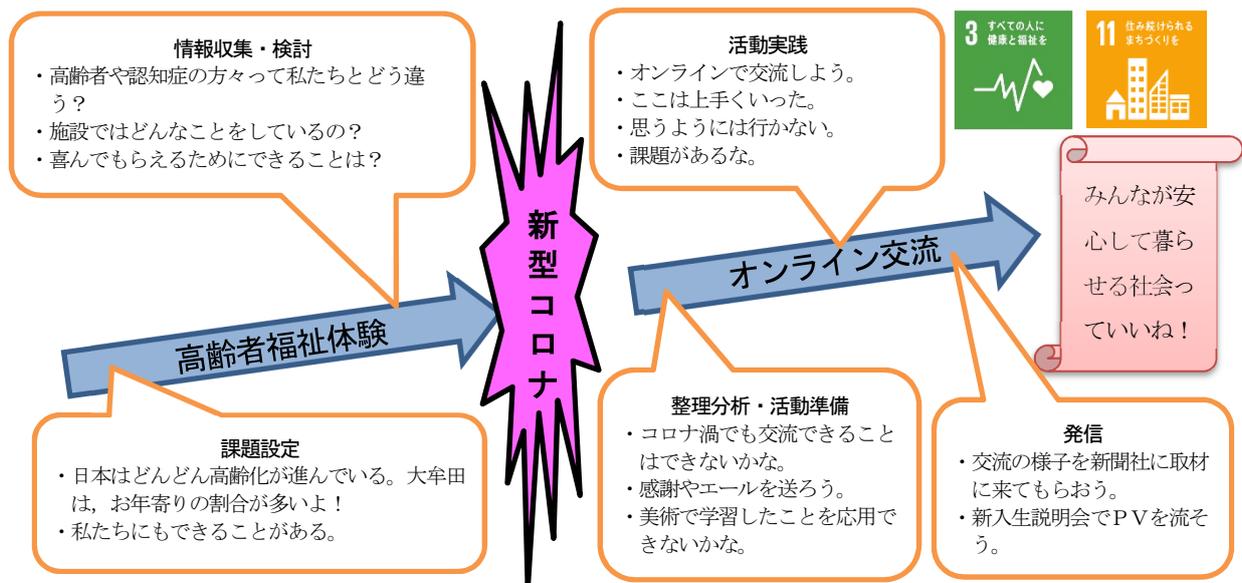
生徒たちは学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることがねらいである。また、生徒同士や地域に住む人たちとの思いや願いを共有し、「つながり」「かかわり」を大切にしながら、地域に対する誇りを持つことで新たな自分を発見し、地域に貢献できる資質や能力を育成することを目指している。

昨年度より、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、地域とつながる新たな形のESDを模索し、進めている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

第1学年 「高齢者福祉と生き方」	第2学年 「自己実現とキャリア教育」	第3学年 「保育交流と自己実現」
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者施設職員との懇談会 ○高齢者施設とのオンライン交流会 ○学習のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業学習 ○ライフキャリアすごろく ○学習のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児期の発達段階の学習 ○保育所・幼稚園へのメッセージプレゼント ○学習のまとめ
世界遺産学習		
防災教育・キャリア教育		
SDGs基礎		

3 特徴的な活動事例の紹介（第1学年「高齢者施設とのオンライン交流会」）



コロナ以前は、校区内の高齢者施設を訪問して高齢者と交流をしていた。昨年度より、高齢者施設とのオンライン交流会をスタートさせた。本年度は、オンライン交流会に先立ち事前の懇談会を開き、施設の職員から施設や仕事についての説明を受けた。また、交流会当日には、介護機器を扱う業者にも参加していただき、リフトカーや車いすなどの機器について学び、実際に体験も行った。

高齢者についての正しい知識と理解を深める取り組み（第1学年）	
目標	<p>○高齢者福祉学習を通して、相手の気持ちを考え、地域や社会へ貢献しようとする態度を養う。</p> <p>○課題の解決に工夫して取り組むことができるようになる。</p>
実践の展開	<p>○高齢者施設の職員からの説明を通して、高齢化社会や認知症などについて知り、高齢者の方や大牟田のまちづくりのために自分にできることは何かを考える。</p> <p>○感謝と応援のメッセージアートを作製し、高齢者施設との交換会を実施し、その様子を高齢者施設とオンラインで結ぶ。</p>
生徒の感想	<p>○高齢者の方々と直接会うことはできないけれど、喜んでもらうためにどうすればいいかを考えながらつくることができた。</p> <p>○福祉の現場で働いている方々は、大変な仕事の中でもやりがいを感じて働いているんだなと尊敬した。</p> <p>○直接、介護をする仕事だけでなく、介護器具の発明、開発、生産など介護の現場を支える方々がいることがわかった。</p> <p>○リモートじゃなくて、おばあちゃんやおじいちゃんと一緒にふれあって遊んだり、話をしたり、質問したいこともたくさんあったので、いつかコロナが収まったら会いたいなと思った。</p> <p>○今回の作品の制作にあたり、僕たちは「がんばろう」の一言にどんなに悲しいことがあってもみんなで共がんばろう。また家族と直接会うことができるように今がんばろうという思いを込めて制作した。交流会では、お互いに作品を発表し、思いを伝えることができた。</p> <p>○絵を描いているときの動画を見た時に、おじいちゃん・おばあちゃんたちがみんな楽しそうに、カメラを見つけると「ヤッホー」と手を振られているのを見て、私も自然と笑顔になった。</p>

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・コロナ禍の中でも自分たちにできることはないかと考えることができた。
- ・高齢者施設や幼稚園・保育所と、これまでのつながりを保つことができた。
- ・第1学年では、昨年度より始めたオンラインという手法での高齢者や地域とつながりをさらに計画的・発展的に行うことができた。

○課題

- ・今後も体験学習の実施が困難だと考えられ、それに変わる内容の検討と工夫をしなければならない。
- ・他学年との交流や他の学校や機関との交流を進める。
- ・ICTの環境整備と教職員の技能向上を図る。



高齢者施設とのオンライン交流会